

## 第5学年国語科学習指導案

指導学級 宮古市立千徳小学校

5年1組 男14名女14名計28名

指導者 大平 智子

指導場所 5年1組教室

### 研修テーマ 叙述について自分の考えをまとめることができる児童の育成

登場人物の相互関係や心情、場面描写をとらえて人物像や心情に迫るために叙述にそって読むことが大切である。そこで、文章と主体的に関わり叙述について考えをまとめることができる児童の育成を目指して本テーマを設定した。

児童は、音読や視写などを通して文章にそって読むことができるようになってきた。しかし、叙述に着目して、その表現や内容にまで目を向ける児童は少ない。

前单元「新しい友達」では音読を中心に全員で叙述をとらえてきたが、本单元では各自が自分で文章の叙述と向き合いたい。

1 单元名 人物の考え方や生き方をとらえよう「わらぐつの中の神様」(光村図書5年下)

2 单元について

(1) 児童について

本单元は学習指導要領C「読むこと」内容1「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」を受けて設定した。

児童は、1学期に物語文の「新しい友達」を学んでいる。ここでは、登場人物の行動や心情の変化を読み取る学習を通して、クロッカスは何を表しているかといった象徴的な物にも目を向けることができるようになってきた。また、説明文「千年の釘にいどむ」ではドキュメンタリーに興味をもち、その後、読書の幅を広げて読む児童も出てきた。

これまでの学習を通して、読みとったことを基に、自分の考えを少人数のグループの中で発表することができるようになってきている。しかし、読みが浅いままで「わかった」と満足する児童も多く、叙述に即して読み深める楽しさや発見、文章を味わうことにより感想を深めることができない児童がいた。そこで登場人物の考え方の根拠や変容の様子を叙述から考えさせたり、描写の深さに触れさせたりできる指導が必要である。

(2) 教材について

本教材は、マサエが祖母の昔語りを聞く中で、純粹で実直で思いやりがあるおみつさんと大工さんの二人の出会いに感じ入り、「みったぐない」と思ったわらぐつに「心をこめて作ったものには、神様が入っている」というものの価値に気付く。それが実は祖父母のことであった驚きと感動から、家族の温かい心の通い合いと人としての生き方の尊さは何かが描かれている。

文章構成は、現在—過去—現在という三場面構成となっており、現在の場面で、昔語りの聞き手であるマサエの変容が、読み手の変容、読みの深まりに重なり、主題をとらえる一助になる。過去の場面で、雪げたやわらぐつにこめた思い、わらぐつを仲立ちとして人として大切にしたい生き方を、叙述や会話文から読み取ることができる。

また、雪国を舞台とし、温かい方言の会話文、やさしい語り口、抒情的な文章表現が作品全体を情感豊かに彩っており、表現の良さや効果なども感じながら作品を読み味わい、読み進められるものと考えられる。

以上のことから、本教材は、描写を通して主人公の心情の変容をとらえさせたり、人としての考え方や生き方にふれさせたりすることに適していると考えます。

### (3) 指導について

登場人物の相互関係や心情、場面の描写などの叙述に沿って、内容を正しくとらえ、叙述に即して、読み取ったことを自分の言葉でまとめることができる児童の育成に向けて、以下の展開を工夫していく。

- 一人一人に文章と向き合わせるために、音読や視写、書き込みを多く取り入れ、読みの視点に沿って自分の考えを書き表す時間を保障する。
- 自分の読みを基に全体で学び合い、友達の考えを聞きながら文章に立ち返り、課題を解決していく展開で学習を進める。
- 隣の人に自分の読みを伝え、交流することができるようにする。対話を通して、自分の読みに自信をもったり、改善を加えたりすることができ、より自分の考えを深めていくことができると考える

## 3 単元の目標

- (1) 方言と共通語についての知識をもち、関心を深める。(国語への関心・意欲・態度)
- (2) 行動描写・会話などから人物像を読み取り、人物の考え方・生き方について自分の考えをまとめることができる。(読むこと)
- (3) 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができる。

方言と共通語について知識をもち、関心を深める。(言語についての知識・理解・技能)

## 4 単元指導計画(全6時間)

段階	時	学 習 活 動
第1次	1	全文を読み、学習計画を立てる。
第2次	2	一の場面を読み、わらぐつに対するおばあちゃんとマサエの見方の違いを読み取る。
	3	二の場面の前半を読み、おみつさんが雪げたが欲しくてたまらない心の高まりとわらぐつを編むときの思い、作り上げたときの思いを読み取る。
	4 <b>本時</b>	二の場面の後半を読み、わらぐつに表れるおみつさんの人柄と大工さんの仕事に対する考え方を整理し、二人の関わり合いと心の交流を読み取る。
	5	三の場面を読み、おばあちゃんの話聞いて、マサエがどう変わったかを読み取る。
第3次	6	主題を話し合い、学習をまとめる。

## 5 本時の指導(4/6)

### (1) 目 標

叙述に即して、不格好なわらぐつを価値あるものとして求める大工さんの人柄と、使う人の身になって一生懸命にわらぐつを編んだおみつさんの人柄、二人の心の通い合いを読み取るができる。(読むこと)

(2) 本時の目標を達成するための手立て

- ①大工さんの考え方がよく表れている会話文を視写させることにより、前後の文脈や、二人の会話を関係付けやすくさせる。
- ②わらぐつを板書の中心に置き、おみつさんの思いや大工さんのわらぐつの見方を考えさせ、価値観が共通していることをとらえやすくさせる。

(3) 展 開 (太字ゴシック体は手立てにかかわる部分)

段階	学習活動 (○発問・指示)	指導上の留意点
みとおす 3分	1 前時の学習をふりかえる  2 課題を確認する  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             こっくりこっくりうなずきながら、おみつさんはどんなことを考えたのだろう。           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おみつさんと大工さんの会話文の音読、児童の感想から、前時をふり返らせる。</li> <li>・おみつさんと大工さんの思いを、会話文と地の文から見つけていくことを知らせる。</li> </ul>
ふかめる 39分	3 本文を音読する ○おみつさんがうなずいたのは大工さんのどの会話文でしょう。  4 読み深める (一人学び) ○会話文から大工さんの人柄や考え方、心情を捉えてみよう。 ○前後の文にも気をつけて読み、おみつさんと大工さんの考え方を対比しよう。  5 とらえたことを基に学び合う (学び合い) ・一人学びしたことを隣りの人に伝えよう。 ○こっくりこっくりうなずいたおみつさんの心と会話にこめられた大工さんのものの見方と似ていることはありますか。  6 学習をまとめる ・おみつさんと大工さんのわらぐつにこめた心を基にまとめよう。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             おみつさんがわらぐつにこめた心を大工さんは分かってくれ、ほんとのいい仕事と言ってくれた。そして、自分も使う人の身になって仕事をするいい大工さんになりたいと思っている。大工さんのしんけんな思いが伝わって、おみつさんは、大工さんを、たのもしくてえらい人のような気がしてきた。           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P16L12～P20L6までを音読させる。</li> <li>・読み終わったら、わらぐつへのおみつさんの思い、大工さんの思いが表れている部分に傍線を引かせる。</li> <li>・<b>中心となる会話文を視写し、前後の文脈と関係付けて読み深めさせる。</b></li> <li>・課題に対する答えを叙述に即して書かせる。</li> <li>・ノートに一人学びで書き込みしたことを隣りの人に伝え、対話しながら読みを深める。</li> <li>・ノートを見直し、修正や補足を書き加える。</li> <li>・<b>仕事に対する2人の思いや、2人の人柄が表れている叙述にも目を向け、2人の心が通い合うことをまとめる。</b></li> <li>・「おみつさん」「大工さん」「わらぐつにこめた心」「ほんとのいい仕事」をキーワードにまとめを書かせる。</li> </ul>

ま と め る  3 分	7 学習の感想を書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 叙述を基に、登場人物の人柄について、わかったことや感想をまとめさせる。</li> <li>・ わらぐつにこめられた思い、わらぐつが象徴することについても書くことができる場合は、それについても書かせる。</li> </ul>
	8 次時の確認をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次時は三の場面を読み、おばあちゃんの話聞いてマサエがどう変わったかを読み取るところを伝える。</li> </ul>

(4) 具体の評価規準

観点	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する児童への支援
読むこと	[読]おみつさんと大工さんの価値観が表れている言葉から、共通となる言葉にまとめて表現し、感想を書いている。	おみつさんと大工さんの人柄や価値観の共通部分を、会話文やわらぐつに対する思いの叙述から取り出し、感想に書いている。	わらぐつに対する二人の価値観が表れている言葉で似ている言葉がないかを考えさせる。

(5) 板書計画

課題

わらぐつの中の神様

こっくりこっくりうなずきながら、おみつさんはどんなことを考えたのだろう。

その次の市の日にも おみつさん  
その次も、またその次も、…………… 楽しみ 不思議  
必ず 思い切って

大工さん

「おれは、わらぐつをこさえたことはいけども、おれだって職人だから、仕事のよしあしは分かるつもりだ。いい仕事するのは、見かけで決まるもんじゃない。使う人の身になって、使いやすく、じょうぶで長持ちするように作るのが、ほんとのいい仕事ってもんだ。おれなんか、まだわかぞうだけど、今にきつと、そんな仕事のできる、いい大工になりたいと思ってるんだ。」

心

わらぐつ

こっくりこっくりうなずきながら  
なんだかとてもたのもしくて  
えらい人のような

おみつさん

少しくらい格好が悪くても、はく人がはきやすいように、あったかのように、少しでも長持ちするようにと、心をこめて、しっかりしっかり編んだ

まとめ

おみつさんがわらぐつにこめた心を、大工さんは分かってくれ、ほんとのいい仕事と言ってくれた。そして、自分も使う人の身になって仕事をするいい大工さんになりたいと思ってる。大工さんのしんけんな思いが伝わって、おみつさんは、大工さんを、たのもしくてえらい人のような気がしてきた。